

# 琉球大学教授職員会ニュース第125号

2010年4月26日 財政構造改善への取り組み特集 (1)

琉球大学教授職員会 <http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

会長：堺 英二郎 (理学部), 副会長：徳田 博人 (法文学部)

事務局：中城口信号角 内線 2023 E-mail [kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp)

## 教授職員会の会費値上げについて、ご検討ねがいます

### 1. 現状の会費は、全職階で月 500 円

教授職員会は、復帰前から親睦組織として長い伝統をもっています。そのことを反映して、教授職員会の会費は、「職階・年齢に関係なく月額 500 円 (年 6 千円)」を国立時代から長く維持してきました。この会費は、他の国立大学の教員組合と比べると、数分の 1 ~ 10 分の 1 以下です。

### 2. 労働組合化したため、お金がかかります

現在、教授職員会は名実ともに労働組合としての役割を果たしています。今年度も、例えば、人事院勧告準拠の給与引き下げ案について、大学当局と粘り強い交渉を重ね、月例給引き下げの遡及阻止を実現したり、ボーナスカット(就業規則の不利益変更)に対して、代償措置として研究費への返還を実現し、教員一人あたり 5 万円の研究費の追加配分を勝ち取りました。労使交渉の過程では、沖縄県労働委員会へのあっせんを求めるなどの対応も必要でした。

こうした労使交渉を、効果的に、また、組合員・代議員の皆さんにオープンに進めていくためには、お金がかかります。執行部会・三役会議などの開催が恒常化し、ささやかな開催経費も積み上がっていきます。また、組合員の皆さんと執行部とを結ぶ「ニュース」も、親睦組織時代とは比較にならないほど、発行回数が増えています。

一方、労働組合になったため、学部長・学科長・センター長など「管理職」に就任なさった会員の方は、在任中は本会会員でなくなります。このため、構造的に会費収入は減少します。

### 3. 昨年度の定期総会で財政健全化を方針に

大学が法人化されて以降、毎年労使交渉の頻度は高くなってきました。今後も、労使交渉に対応して会議を頻繁に開く必要がありますし、そのための会議費や広報費用は、ますます増加することが見込まれます。

こういった状況について昨年夏の定期総会でも議論がなされ、組合費の値上げを含む財政の健全化を図ることが方針として確認されました。

### 4. 今年度の実践結果＝会費値上げは不可避

今年度は、例年 100 万円程度あった前年度からの繰越金が 13 万円弱しかないもとの活動を始めました。そこで、今期執行部は、財政の健全化を図るために、昨年、緊急カンパを皆様にお願ひしたり(教授職員会ニュース 124 号など参照)、また、会費徴収率向上・会員拡大を試みたりしてきました。このような努力に、組合員のご協力もいただきましたが、それでも、教授職員会の財政はぎりぎりの状態です。

教授職員会が今後も活発に組合活動を続けていけるような、財政的保障を確立するためには、会費の値上げがどうしても必要であると、現執行部は考えるに至っております。

### 5. 会費値上げの方向性

#### (1) 負担増に見合った魅力ある会に

親睦組織として、全学の教職員の皆さんのお役に立つことを伝統としてきた本会の性格を受け継いで、これまで、教授職員会の労使交渉やイベントは、会員・非会員を問わず利益を受けられるよ

うにしてきました。そのため、「入会するメリットに乏しい」とのご批判もいただいています。

そこで今後は、これまでの伝統は活かしつつ、組合員だからこそ利益が得られる活動の強化も進めます。たとえば、大学当局との交渉でも、就業規則（全職員に適用される）の変更だけでなく、案件によっては「労使協定」の締結（組合員にだけ適用される）を検討してはいかがでしょうか。また、楽しい親睦行事の活発な開催、特約店の活用などはいかがでしょうか。会費増額で生まれる財政的余裕をこうした魅力ある活動にあてることを提案します。

## (2) 労働組合としてやっていける財政構造を

私たちは、ことさらに大学当局と対立し、闘争することを意図するものではありません。しかし、労働組合である以上は、万一の不当労働行為に備えて、組合員や組合自体の権利を守るため、弁護士費用等を日頃から基金として積み立てておくのが、ほんらい当然の姿です。

また、現在本会の実務をこなしていただいている書記が1名いますが、この方には親睦組織時代からわずかな謝金でボランティア的に仕事をしていただいています。本来は、組合と事務員とは適切な労働契約を結ぶ必要があり、そのためには、賃金だけでなく、退職金や保険等の対応に引当金が必要です。

近年、執行部がボランティア同然で激務をこなし、しかも、その活動が資金の制約を強く受けています。この実態を改善し、今後、執行部になっていただく方々が、その重責を担いやすくなるようにしていくことも、本会の維持発展に大事です。

このほか、印刷機やパソコン等の高額備品を、定期的にメンテナンス・更新していくための資金も必要です。

これらの資金を、教授職員会は持っていません

が、労働組合として活動するためにも、また、本会の健全な運営を維持するためにも、今後はぜひ必要なものと考えます。

## (3) 収入に応じた負担を

会費を引き上げる場合、全員一律の会費から、ある程度賃金の差を反映した会費制度に変更し、負担の公平をはかることも検討しています。たとえば、教授・准教授・講師・助教の職階ごとに会費月額を定めるような制度の導入です。

## 6. 組合員の皆様のご検討・ご議論を！

以上のような観点から、前回総会決定を受けて、教授職員会の会費を引き上げる手続きを進めることを提案します。会員の皆さまにおかれては、こうした執行部の提起について、ご検討・ご討議をお進めくださいますようお願いいたします。

議論の前提となる詳しい情報（収入等の金額その他）について、次号ニュースを近日中に発行して組合員各位にお知らせいたします。それをご参考にしつつ、代議員の皆さんとも協力し合って、必要性・開催可能性に応じてブロック会議等も開催していただき、ご検討・ご討議くださいますようお願いいたします。

執行部としては、組合員個人・ブロックをとわず、ご意見・ご質問を歓迎致します。

今年度の定期総会（6月末予定）にむけて、組合員の皆さまが集まって率直な意見を出しあっていただけるよう、5月下旬を目途に、会費や活動のあり方など本会の将来像について話し合う集会を開催するよう、計画しています。

◎ご意見・ご質問は、各ブロックの代議員・執行部員または、直接、教授職員会事務局（ニュース表題下）にお寄せください。

教授職員会新指定店 指定店を活用しましょう！

**(株)車輛館 Fシステム沖縄本店 0120-419-537 浦添市勢理客4-1-3**

- ・新車リース 30万円用品サービスに加えて折畳み自転車をもれなくプレゼント
- ・車検整備 大学へ引き取り・納車対応 代車必要な場合無料提供 さらにオイル交換無料
- ・修理钣金塗装 20% 割引特典 ・用品取付販売 10% 割引特典